

事務事業名	実施計画策定・改定事務				担当	総務部 企画課 企画調整係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号			
施策名	4	財政の健全化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市市勢発展長期計画進行管理要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和46年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	6企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	市勢発展長期計画の基本計画に位置付けられた主要施策を具体的に実施していくため、向こう2か年度の実施計画（事業計画及び財政計画）を策定し、ローリング方式により毎年度改定している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 26年度実績 実施計画改定方針決定及び改定通知、改定要求取りまとめ、総務部長ヒアリング、総務部長査定及び結果通知、市長査定及び結果通知、実施計画書作成及び発行 27年度計画 26年度と同じ		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 改定事務従事延べ日数 日 70 70 70 70 70 イ ウ エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 実施計画（事業計画） 改定要求		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 実施計画改定要求額 千円 43,754,780 44,415,359 44,679,456 48,229,369 イ ウ エ オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 歳入の見直しを踏まえながら、要求のあった実施計画（事業計画）の内容審査、調整及び査定を通して、既存実施計画を改定する。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 実施計画額 千円 41,736,232 42,455,224 42,761,910 46,204,028 イ ウ エ オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市勢発展長期計画基本計画に定められた主要施策の体系化、具体化を図るため、予算編成の指針とする。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(見込) ア 実予算反映割合（実施計画額/当初予算額） % 83.5 84.0 84.1 88.8 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	570	570	570	470	
		人件費計(B)	千円	2,418	2,395	2,316	1,984	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,418	2,395	2,316	1,984		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市の行政運営の指針とする10カ年計画、5カ年計画・昭和45年度の市勢発展長期計画の策定及び昭和46年の真岡市市勢発展長期計画進行管理要綱の制定
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・市勢発展長期計画基本計画に定められる主要施策及び実施計画改定要求事業については、少子高齢社会、環境重視社会への対応等、議会、市民等の行政に対する要望がますます拡大、多様化している。 ・行政評価システムの導入に伴い、実施計画の改定要求及び内容審査、調整及び査定への反映がある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本事務は市勢発展長期計画基本計画の体系化、具体化である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市勢発展長期計画基本計画の体系化、具体化であり、予算とともに本市政策、施策を市民等に示すものである。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 実施計画改定要求の調整・査定を通して、既存計画を改定するものであり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 実施計画の改定事務であり、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・市勢発展長期計画基本計画の体系化、具体化がされない。 ・予算編成の指針がなくなり、予算編成事務に支障が生じる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 計画改定事務であり、事業費はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担の対象外の事務である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							